

年を重ねると、いくつもお薬を飲んでいる人は珍しくありません。「毎日こんな…」と、うんざりしている人も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、ポリファーマシーについてお伝えしたいと思います。

また、重複や必要のない薬が処方されているケースもポリファーマシーに含まれます。ポリファーマシーに陥る原因として主に3つ考えられます。1つ目は、高血圧、糖尿病とい

ている状態をいいます。症状を改善するために薬を追加するといった悪循環（処方カスケード）によって、自然と薬の種類が増えていくと考えられます。

か、服用状況、処方カスケードなどポリファーマシーを意識した確認をしています。特に5剤以上飲んでいて高齢者の4割以上で「転倒」が起きる

す。ポリファーマシーを防ぐためには、お薬手帳を用いてお薬の情報を集約し、継続的に管理することが重要になってきます。また、2023年1月から始まった電子処方箋では、過去の薬情報を医療機関・薬局で参照できるようになりま

ポリファーマシーとは「ポリ(Poly=多い)」と「ファーマシー(Pharmacy=調剤)」を組み合わせた造語で、多剤服用と訳されるケースが多く見られます。しかし、ポリファーマシーとは、単に服用する薬の数が多いことを指すのではなく、多くの薬を服用しているために、副作用を起したり、きちんと薬を飲めなくなったりし

た生活習慣病の治療として複数の医療機関や診療科を受診することによる薬の増加。2つ目は加齢により目や耳の不調やトイレの回数が増えるなどの生理的老化に伴う薬の増加。3つ目は薬を飲むことで副作用が発生し、その副作用

ポリファーマシーを考えると、入院患者さんのお薬を医師、看護師、薬剤師で副作用の兆候はない

と言われていますので、療法士を含めた多職種で転倒リスクのある薬を避け、積極的にポリファーマシー対策がさらに進むものと期待します。

ポリファーマシーは、自分にも他人にも起こりうる問題です。薬の飲み方や必要性について、定期的に医師や薬剤師と相談しましょう。薬の適正使用は、健康と安全のため

知って得医療・介護

藤田医科大学七栗記念病院 薬剤師 二村 昭彦



⑥ 「ポリファーマシー」って知っていますか？

1対策にと期待します。

ポリファーマシーは、自分にも他人にも起こりうる問題です。薬の飲み方や必要性について、定期的に医師や薬剤師と相談しましょう。薬の適正使用は、健康と安全のため

ポリファーマシーとは「ポリ(Poly=多い)」と「ファーマシー(Pharmacy=調剤)」を組み合わせた造語で、多剤服用と訳されるケースが多く見られます。しかし、ポリファーマシーとは、単に服用する薬の数が多いことを指すのではなく、多くの薬を服用しているために、副作用を起したり、きちんと薬を飲めなくなったりし

た生活習慣病の治療として複数の医療機関や診療科を受診することによる薬の増加。2つ目は加齢により目や耳の不調やトイレの回数が増えるなどの生理的老化に伴う薬の増加。3つ目は薬を飲むことで副作用が発生し、その副作用

ポリファーマシーを考えると、入院患者さんのお薬を医師、看護師、薬剤師で副作用の兆候はない

と言われていますので、療法士を含めた多職種で転倒リスクのある薬を避け、積極的にポリファーマシー対策がさらに進むものと期待します。

ポリファーマシーは、自分にも他人にも起こりうる問題です。薬の飲み方や必要性について、定期的に医師や薬剤師と相談しましょう。薬の適正使用は、健康と安全のため